

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテと愛媛県消防が管理している搬送記録、愛媛県ドクターヘリ通信センターが管理している搬送記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や搬送記録を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	愛媛県ドクターヘリの急性期脳卒中医療における役割に関する研究
研究機関名	愛媛大学医学部救急航空医療学講座
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者(個人情報管理者)	(診療科名) 愛媛大学医学部救急航空医療学講座 (職名) 院生 (氏名) 斉藤美瑛
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2030年 3月 31日
対象となる方	2017年2月1日から2025年12月31日に当院を救急車で受診、もしくは愛媛県ドクターヘリ医療スタッフによって搬送および診察された方のうち脳卒中(くも膜下出血・脳出血・脳梗塞)と診断された40歳以上の患者さん
利用する試料・情報等	(利用する搬送情報) 搬送日、要請消防、要請時間、要請時の症状、発症時間、ドクターヘリ接触時間、病院到着時間、搬送先病院 等 (利用するカルテ情報) 性別、年齢、脳卒中の病型、既往歴、身体所見、外来処理内容、画像検査データ、治療内容、退院時の症状、退院後の症状 等
研究の概要(目的・方法)	愛媛県ドクターヘリ医療スタッフが診療する脳卒中の患者さんの数は全国のドクターヘリ事業と比較して少ないことが特徴です。ドクターヘリが関わることで愛媛県の脳卒中の患者さんの治療を救急車よりも早期に開始が出来るのか、患者さんにより良い治療結果をもたらすことが出来るのかどうか今回の研究で明らかにすることにしました。ドクターヘリで搬送された患者さんと救急車で搬送された患者さんの搬送記録や診療記録を比較することで分析を行います。

個人情報の保護 について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p> <p>研究終了後10年間、適切に保存した後に、個人情報に注意して廃棄します。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院救急航空医療学講座 齊藤美瑛 791-0295 愛媛県東温市志津川454 Tel: 089-960-5722

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	(研究機関・診療科) 愛媛大学医学部救急航空医療学講座、愛媛県立中央病院・救急科 (職名) 院生、医師 (氏名) 齊藤美瑛
共同研究機関	(研究機関・診療科) 愛媛県立中央病院・救急科 (氏名) 馬越健介 (研究機関・診療科) 愛媛県立中央病院・救急科 (氏名) 田中光一 (研究機関) 大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 (氏名) 齊藤功
情報の提供のみを行う機関	(研究機関名) 市立八幡浜総合病院 宇和島市立宇和島病院 伊予病院